

# 社報

感染症による自粛の長いトンネルを進んでいます。少し出口が見えてきたと感じる方も増えてきたのではないのでしょうか。五月に斎行しました御田植祭ではコロナ禍前よりも多くの参加者があり、今年は二年間中止となった大被形代流し神事や例大祭に於ける神輿遷霊祭も行う予定で進んでいます。多くの方に「お祭りがあるんだ」と周知頂き、氏子が一丸となって鎮守様に明るい未来を祈りたいものです。

## 夏越大祓



疫病祓除の茅輪くぐり

六月三十日(木) 午後七時

御神木前の神社正中に設置した茅輪を官司に続いて参加者がくぐって災いや穢を祓い除け、参加者全員で大祓詞を奉読し、無事に夏を越せる事を願う祭典です。  
氏子達の罪穢れを負った形代が集まった事を奉告し大海原に流す事をお伝えします。  
尚、茅の輪は六月二十日頃よりくぐる事が出来ます。



第二十四回

## 神明雅楽文月

〜七夕の歌宴〜

七月三日(日) 午後六時

※雨天の場合は七月九日

氏子より集まった和歌を披露し雅楽を奉る古来より七夕に行われた乞巧奠に近い形で開催します。貴族達が楽しむ歌合わせが区内で行われるのは非常に珍しいことです。



第二十三回

## 形代流し神事

七月六日(水)

観光バスにて氏子内を出発、銚子黒生海岸にて神事、直会、海産物買物、酒蔵見学などを経て帰ってくる日帰りの行事です。

今年は三年ぶりに斎行する予定ですので参加希望の方は神社又は各町会に申し込み下さい。

- ・参加費 七千円
- ・申込み締め切り 六月三十日
- ・定員 六十名

注・参加者は必ず大被式までに形代を神社に納めて下さい。



# 抜穂祭

九月十四日(水)  
午後四時

稲荷社斎田に植えられた稲を刈り取る儀式です。稲穂は例大祭で御社殿に献じられるほか、各町会の神酒所や御神輿にも供えられます。集まった子供達にはお菓子も配られます。

# 例大祭式典

九月十六日(金) 午後二時

一年で最も大切な儀式です。昇殿は役員のみとなりますが、境内からの参列はどなたでも可能です。

# 氏子内神幸式

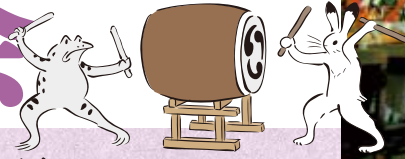
九月十七日(土) 午前九時より

御祭神を遷した唐櫃を神職等が担いで各戸を巡り祭式を執り行い、家族の健康や繁栄、商売繁盛などを祈禱致します。

希望される家や店舗は八月末日迄に神社若しくは町会担当者に申し込み下さい。



# 例大祭



## 例大祭奉納提灯のお願い



本年は三年ぶりに例大祭提灯奉納を行う事となりました。今年より新規製作の提灯紋が巴紋から御社紋である花菱紋に変更されます。継続分、新規分ともに申込期間は七月十五日より八月十五日、詳細は神社または町会担当者に問い合わせ下さい。



# 七町会神輿遷霊祭

九月十六日(金) 午後八時

七町会の御神輿が境内に整列し御祭神の御分霊にお遷り頂く儀式です。警蹕という「オー」の音が暗闇に響く中に行われる神事には是非参列下さい。

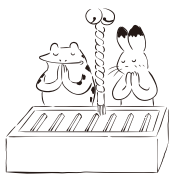
# 令和四年 七五三詣について

ご予約にて承ります。希望日をお知らせ下さい。※千歳飴の準備が整うのは九月末頃です。



# 月次祭

毎月一日は朝七時より月次祭を斎行しております。ご参拝自由です。事前のご連絡は不要です。で、五分前くらいに境内にお集まりください。祭典は約二十分です。



# 天祖神社の御祭神

あまてらすおおみかみ  
天照大神  
おうしんてんのう  
応神天皇  
あめのこやねのみこと  
天児屋根命



各種御祈願・行事参加、地鎮祭・神葬祭のお申込み・詳細のお問合せは天祖神社社務所まで  
電話：03-3782-7349  
WEBサイトからのお問合せも可  
お急ぎの方は必ず社頭またはお電話にてお問合せください。

# 下神明天祖神社

〒142-0043 東京都品川区二葉1丁目3-24 (豊葉の杜学園横)

下神明天祖神社ウェブサイト <https://shimo-shinmei.jp>

氏子区域：二葉一丁目、二丁目、三丁目(17~21)/豊町三丁目、豊町四丁目(1を除く) 戸越五丁目(1.2.14.15を除く)/大井二丁目1の一部

江戸中期に編纂された幕府官撰地誌「新編武蔵風土記稿」にある「正保年中改定図」に下蛇窪の記が初めて見られることから正保元年の一六四四年に上下の村が興ったとして昭和五八年に三〇〇年祭が斎行され、現在では五年毎に本祭と称して式年大祭が行われている。下蛇窪という名称は立会川沿い蛇窪(へびくぼ「じやくぼ」とも)と呼ばれる地域の下流側に在った事に因る。同風土記稿には上下の神明社勧請の年歴は不詳とあるが、御神木であるカヤは樹齢六〇〇年を越えており、社も室町時代には在ったと云われている。当社が村鎮守の神明社となったのは、江戸初期に流布していた伊勢・八幡・春日の三神を祀る三社託宣信仰に依るものと考えられる。現在、由緒の空白部分を埋めるために歴史研究会が活動し成果を上げつつある。また、雅楽を中心に伝統文化継承にも力を入れている。